

私が青年海外協力隊のボランティアとしてアフリカ南部にある国ザンビアに赴任して、ちょうど1年が経ちました。ザンビアに来るまでは、ザンビアの名前さえ知らず、アフリカはただただ縁のない遠い国だと思っていました。しかし、こうして1年間住んでみて感じるの、ここは私の故郷である下田に意外と似ているなあ・・・ということなのです。

1週間に2〜3回は停電があります。女性達は木炭を使って家の外でおしゃべりをしながら、時間をかけて夕食の準備をします。シマという、ともろこしの粉を火にかけて練った主食を、野菜や肉と一緒に手に使って食べます。私

電気や水の供給が不安定で、1週間に2〜3回は停電があります。女性達は木炭を使って家の外でおしゃべりをしながら、時間をかけて夕食の準備をします。シマという、ともろこしの粉を火にかけて練った主食を、野菜や肉と一緒に手に使って食べます。私

電気が不安定で、1週間に2〜3回は停電があります。女性達は木炭を使って家の外でおしゃべりをしながら、時間をかけて夕食の準備をします。シマという、ともろこしの粉を火にかけて練った主食を、野菜や肉と一緒に手に使って食べます。私



学校での授業風景

も停電になると、隣の家に転がり込んで一緒にシマをつつきます。隣人に食事を分け与えることは、ザンビア人にとって、とても自然なことです。

私も停電になると、隣の家に転がり込んで一緒にシマをつつきます。隣人に食事を分け与えることは、ザンビア人にとって、とても自然なことです。

私も停電になると、隣の家に転がり込んで一緒にシマをつつきます。隣人に食事を分け与えることは、ザンビア人にとって、とても自然なことです。

平成20年10月30日 長友郁代

平成20年10月30日 長友郁代

平成20年10月30日 長友郁代



生徒たちと一緒に

カムワンバ!

青年海外協力隊員として、ザンビア共和国で障害児の自立支援活動をしている、長友郁代さんから届いたお便りを紹介します。

ザンビアの人はとてもフレンドリー

私は首都から400 離れたチヨマという小さな町に住んでいます。買い物に行く時は、必ず知り合いに出会って立ち話が始まります。「How are you?(元気がいい?)」という挨拶から始まって、仕事の調子はどう?、ザンビアは過酷じゃない? など、質問攻撃が続きます。短い距離でも、なかなか目的の場所まで到着できません。このように、ザンビア人はとてもフレンドリーで、人付き合いがとても濃く、互いに助け合って暮らしています。そんな人々の温かさが下田の町を感じさせます。

手話がコミュニケーションの手助けに

私はセントムルンバ障害児学校に配属されていて、教師として活動しています。学校は寮制になっていて知的障害児80名、聴覚障害児100名、視覚障害児30名が共に生活しています。子供たちはいつも元気に校庭を飛び回っています。そして、大人の手伝いをとても良くします。大きな子供は小さな子供の面倒をよく見ています。私は知的障害を持つ子供8名のクラスを担当していて、主に英語、算数、図画工作を教えています。当初、現地語(ザンビアには72の現地語が存在します)を主に使って生活している子供た

夢を持って前向きに努力してほしい

さて、2年間という限られた活動期間の中で私に何かできるのだからか・・・と考えた時に、子供たちが未来に希望を持って、過ごして欲しいと願う気持ちが私の活動の原動力になっていると思います。健康な成人さえ仕事をみつければ難しいザンビアにあつて、「学ぶ」ということは仕事を獲得するという現実的な問題と直結しています。町の教育委員会の大きな看板に書かれているスローガンは「学び、学びは金なり」。障害のある人々が仕事を獲得すること

特別会計及び事業会計

特別会計名	予算額	収入済額	支出済額
稲梓財産区特別会計	110万円	120万円	16万円
下田駅前広場整備事業特別会計	1,200万円	1,161万円	210万円
公共用地取得特別会計	1,540万円	1万円	1万円
国民健康保険事業特別会計	34億8,095万円	14億9,722万円	15億0,136万円
老人保健特別会計	2億5,810万円	2億8,973万円	2億5,524万円
介護保険特別会計	18億6,300万円	8億4,534万円	7億0,920万円
後期高齢者医療特別会計	30億3,000万円	1億0,830万円	6,981万円
集落排水事業特別会計	1,600万円	828万円	775万円
下水道事業特別会計	29億0,415万円	6億9,787万円	7億2,160万円
水道事業会計	12億7,460万円	3億3,763万円	3億3,493万円

下田市の財政は大丈夫? 「健全化判断比率」

財政の健全化が必要かどうかを判断する新たな指標を整備し、公表することで、比率が悪化した団体に早期に財政の健全化を促すための法律「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」が一部施行され、平成19年度決算から4つの健全化判断比率(実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率)と資金不足比率を算定し、公表することとなりました。

健全化判断比率 (単位: %)

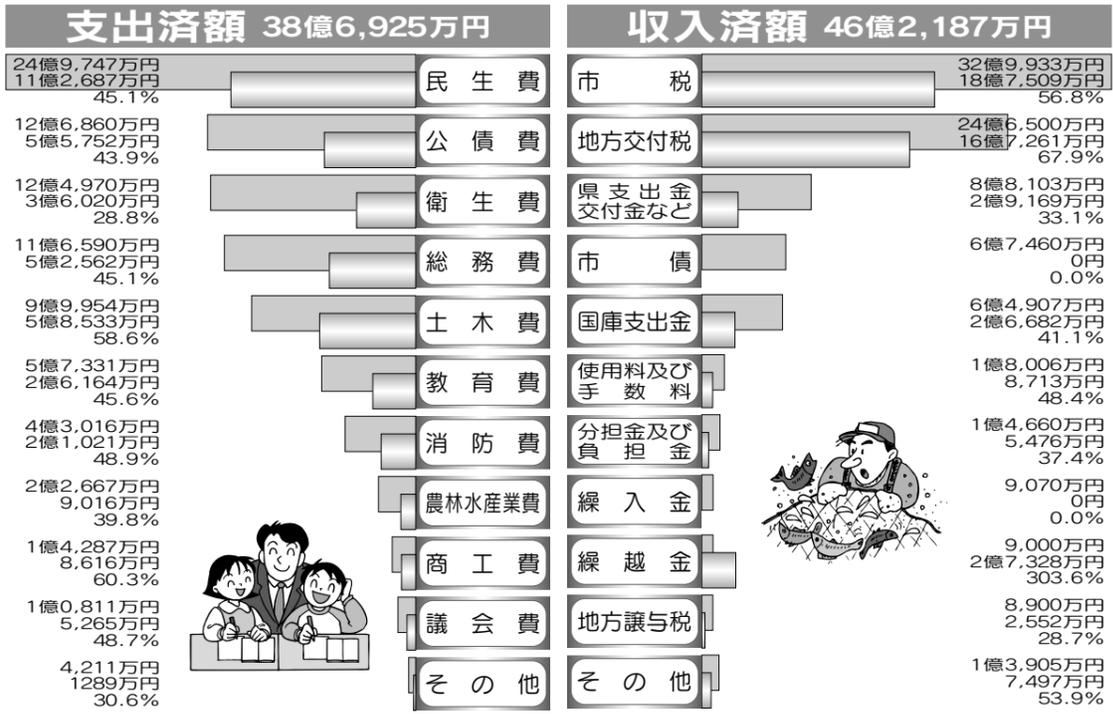
区分	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
下田市	-	-	17.4	129.8
早期健全化基準(下田市の場合)	14.43	19.43	25.0	350.0

実質赤字比率および連結実質赤字比率は黒字のため「-」で表示しています。

【用語の説明】

実質赤字比率	一般会計等の実質赤字の標準財政規模に対する割合	連結実質赤字比率	全会計を合算した実質赤字額の標準財政規模に対する割合
実質公債費比率	公債費および法令により準ずる公債費が標準財政規模に占める割合	資金不足比率	公営企業ごとの資金不足額の事業の規模に対する割合 下田市では、対象となる水道事業会計、下水道事業特別会計、集落排水事業特別会計に資金不足額はないため、算定されません。
将来負担比率	一般会計等が将来的に負担すべき実質的な負債額の標準財政規模に対する割合 ※「標準財政規模」標準的な状態で通常収入が見込まれる一般財源の規模。		

一般会計 予算額87億0,444万円



平成20年度 上期財政状況